

## 社是の実践を通じて社会に貢献します

ムラタは、CSRという言葉が広く使われ始める前から、CSRの理念や考え方を先取りした社是を掲げ、これに基づく経営を行ってきました。「文化の発展に貢献し」「会社の発展と協力者の共栄をはかり」「感謝する人々とともに運営する」といった言葉に、今日のCSRを先取りする思想が流れています。この社是は全ての従業員が行動の「規範」とすべき考えを表したもので、社是の実践こそが、ムラタのCSR(企業の社会的責任)であると考えています。

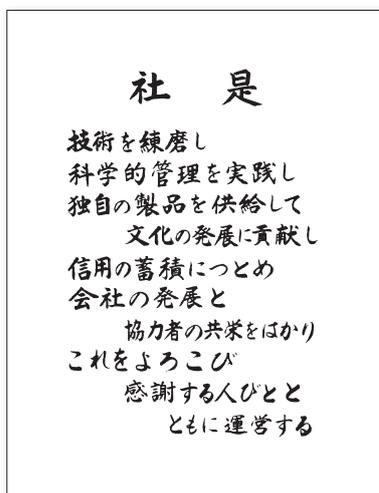
### ●ムラタが目指すもの

ムラタが目指す姿は、“Innovator in Electronics”です。この言葉には、お客様の視点に立った新しい価値を創造し提供していくことで、無限の可能性を秘めたエレクトロニクスの世界を革新していく企業でありたいという想いを込めています。そしてこのビジョン実現に向けて、大切にしている価値観がCS(顧客満足)とES(従業員のやりがいと成長)です。これは、お客様や社会に新しい価値を提供し、社会から選ばれ続けるムラタでありたい、また、ムラタで働くことに誇りを感じる社員でいっぱいになりたいという経営の想いでもあります。

一方、社会は地球規模で大きな課題を抱えています。ムラタは、社是の実践を通して社会が抱える課題に自立的に取り組み、豊かな未来社会の実現に向けた一翼を担っていきます。そのためには、従業員一人ひとりがCSRの理念をしっかりと理解し、日常業務のPDCAを回していくことで、「社会から尊敬される企業」「社会から存続を期待される企業」としてのムラタを実現していきたいと考えています。

## トップメッセージとして

**社是の実践を通じて、お客様や社会に新しい価値を提供し、従業員が誇りとやりがい、そして成長を実感できる経営を目指します。**



## 電子部品を供給して、豊かな社会に貢献します

ムラタの電子部品は、携帯電話やパソコン、家電製品、自動車、産業用ロボットなど、人々の生活を支えるさまざまな電子機器に使われています。ムラタでは、トップシェア製品を多く持つ部品メーカーの社会的責任——「製品責任」として、安全で高品質な製品の安定供給に努めています。そして、高機能化、多機能化や小型化、省電力化を目指し、材料、製品から工法まで、多様な研究開発テーマに取り組んでいます。

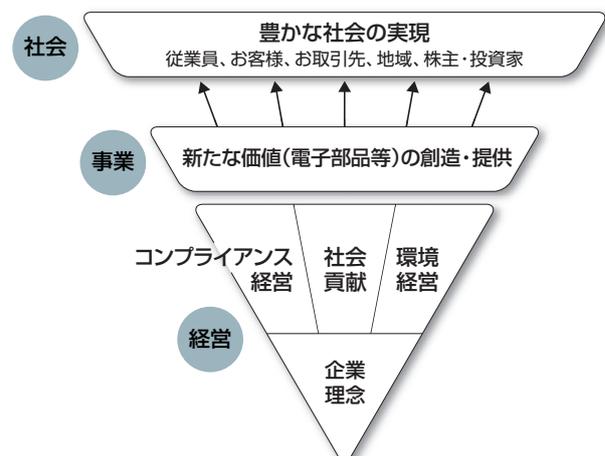
### ●コンプライアンス経営の推進

ムラタは、製品を供給することを通じて、「本当の意味での豊かな社会」の実現に貢献したいと願っています。

そして、あらゆる事業活動において、良き企業市民として、コンプライアンスや企業倫理を遵守し、全従業員がそれに基づいて行動するための活動に積極的に取り組んでいます。

2007年4月に「企業倫理規範・行動指針」を全面改訂し、社員一人ひとりへ「企業倫理規範・行動指針」の冊子を配付するとともに、それをよく理解してもらうためのさまざまな情報を、社内報やイントラネットで提供しています。また、実際の業務や人間関係の中で生じるさまざまな問題のケース・スタディを各職場において毎年行っています。このように「企業倫理規範・行動指針」に基づいた正しい判断力を養うことを、コンプライアンス推進活動の中核に据えて実践しています。「企業倫理規範・行動指針」に反映されているムラタが大切にしたい価値観を徹底して理解・共有することがコンプライアンスの取り組みを定着させることにつながると考えています。

### ▼ 事業を通じて社会に貢献するムラタのCSR



### ●環境を重視した経営体制を強化

環境面においては、「村田製作所環境憲章」を制定し、「温暖化防止」「廃棄物削減」「化学物質対策」など、グループ全体の環境方針と行動計画を定め、日々その実践に努めています。特にCO<sub>2</sub>の排出量削減は、CSR活動の主軸の一つとして取り組まなければならない大きな課題と考えており、さらなる削減に向けて、2010年度の原単位削減目標を1990年比35%に引き上げました。

また2007年度3月に、ISO14001の認証取得をこれまでの拠点ごとの個別認証から、国内グループ全体で一括取得するマルチサイト認証へ、切り替えを完了しました。これによって、設計・開発から生産、販売まで一貫した環境マネジメント体制を構築・強化するとともに、グループ全体での環境コミュニケーションの向上を図っています。

これからもムラタは、生産活動や製品が地球に与える影響とそれにとまなう責任を十二分に認識し、環境負荷の軽減に努力を重ねていきます。

### ●ムラタのもてる力を地域へ、そして社会へ

1985年、ムラタは、社会貢献活動の一環として、学術振興を通じて科学技術の発展に尽くすため、「村田学術振興財団」を設立し、以来、科学技術の向上・発展や、人文・社会科学分野の諸問題の解決に寄与する研究への助成を行っています。また、児童・学生の「理科離れ」が議論される中、ムラタが持つ知識・技術や人材を活かして、各地の小中学校などに出向いての「理科授業」を実施しています。「授業」では、ムラタのシン

ボルであるムラタセイサク君<sup>®</sup>を用いるなどの工夫で、子どもたちに科学の面白さを伝えています。

一方、環境に配慮している企業として「環境学習」にも取り組み、子どもたちの環境保全の意識を育てています。また、「地域に“文化的雰囲気”を生み出し、それを維持発展させることが企業の社会的責任である」という方針のもと、事業所ごとに各地域の文化や自然と調和する緑化活動に早くから取り組んできました。2007年度からは京都府亀岡市で、森林保全とともに地域住民の方々とのコミュニケーションを図る「ムラタの森活動」を開始しています。

これからもムラタは、ムラタが持つさまざまな資源を有効に活用し、地域や社会の皆様に貢献していきます。

なお、CSR活動をさらに推進していくための体制として、CSR推進室を組織し、2008年度では私を委員長とする「CSR推進委員会」を設置しました。これによって、CSR活動を今まで以上に重要な経営戦略の一つとして取り組んでいくことをご報告いたします。

あわせて皆様からの忌憚のないご意見と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年7月

代表取締役社長 村田 恒夫

代表取締役社長  
村田 恒夫